

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

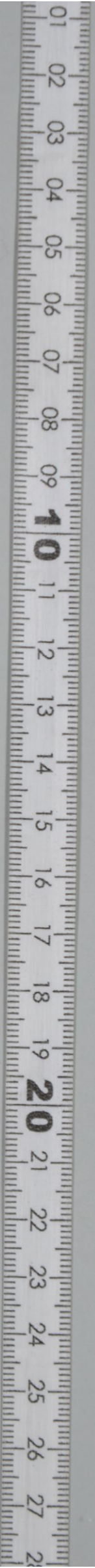
- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像はカラーです。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

自昭和十五年四月一日
至昭和十六年三月三十一日

第拾五期營業報告書

株式會社

上盛岡通運



昭和十五年 度

第十五期營業報告書

盛岡市三ツ割字上名須川九十番地ノ一

株式會社 上 盛岡通運

昭和十五年四月一日より全十六年三月三十一日に至る昭和十五年度當會社營業の概要及諸勘定を株主各位に報告すること左の如し

一、營業の概況

當期間に於ける我國經濟界は外には歐洲戰局の擴大と我外交政策轉換による國際環境の變化、内には之に對應する政治經濟の強化並に産業再編成の問題等種々の難礁に遭遇し各部門に於て支障ありしことは争はれぬ事實なり。然れども國民所得の増加は巨額の戦費及事業資金を賄ひ生産力擴充に寄與せることも尠少なからず、要するに未曾有の波瀾の間に諸種の問題を未解決の儘に終始したり。

我小運送業界は貨物の移動依然として活況を呈し、一般に益々繁忙の度加へたる反面に於て勞力不足、運搬具の入手難等勞力を主体として經營する斯業にとりては常に細心の注意と苦心を要したり。當社は此の間にありて從來の積極的經營方針を踏襲して別記計算に示すが如き業績を挙げ資産内容を充實し益々社礎を鞏固ならしむることを得たるは株主各位と共に欣幸とする所なり。

次年度事業計畫としては、發送事務所の新設、勞務員社宅の新築、厩舎の増築等、戦時下に於て重大使命を持つ小運送業者として諸般の準備を整へ、運送報國の實を擧げて御期待に背かざるの覺悟なり。

當期間に於ける貨物取扱數量

	發	送	到	督
車			一二、五一五艘	二四、九三七艘
小口			四、〇八二艘	一、三三四艘
計			一六、五九七艘	二六、二七一艘

二、株主總會

一、昭和十五年四月二十二日第十四回定時株主總會を盛岡市夕顔瀬多賀に於て開催し昭和十四年度貸借對照表、損益計算書、利益金處分案等を原案通り可決更に改正商法施行につき定款中第六條、第十一條、第十四條、第二十五條改正の件を原案通り可決せり。

三、庶務事項

一、昭和十五年五月五日 定款變更につき其の變更登記申請を盛岡區裁判所へ提出せり。

二、全年六月二十五日 定款變更届書を仙台鐵道局長宛提出せり。

四、資本金

一、當期末資本金五萬圓、未拂込金參萬貳千五百圓也

五、株式

一、當期間の株式異動五十株にして期末現在別掲の通り

貸借對照表

(昭和十六年三月三十一日現在)

負債之部		資産之部	
科目	金額	科目	金額
資本金	五〇、〇〇〇	未拂込資本金	三二、五〇〇
法定積立金	二、五五〇	土地建物	七、三六五
別途積立金	四、九五〇	運搬機具	三、四二二
他店ヨリ借	三、二四五	備品	二、〇九一
未拂取立金	三、一六一	有價證券	五、七四五
未拂諸掛金	一、二二六	他店へ貸	二、八三〇
假受金	四、三七九	發荷主貸	一、二四五
	八六	着荷主貸	二、二一〇
		雜口荷主	一、一七〇
		保證金	四五〇
		假拂金	七九七
		振主辰金	一、六五六
合計	七五、二一一	合計	七五、二一一

財産目録

(昭和十六年三月三十一日現在)

資産	摘要	金額
前期繰越金		一、一一七
当期利益金		四、五七九
合計		七五、二一一
固定資産		
土地	二六六坪 原價 二、二八四、九二	一、三〇〇
建物	營業所、倉庫 原價 一三、八一八、九二 上家、車庫、三八九坪	六、〇六五
備品	倉庫、電話 原價 六、二二八、一〇 其ノ他	二、〇九一
運搬機具	小型自動車 原價 三、四二二、二五 其ノ他	三、四二二
投資		
有價證券	株式 拂込額五、九七五、〇〇	五、七四五
合計		七五、二一一
前期繰越金		一、一七三
当期利益金		四、五七三
合計		七五、二一一

流動資產	他店へ貸	取引店 一六八店	二、八三〇三五
	發荷主貸	發荷主 一八口	一、二四五三四
	着荷主貸	着荷主 五五口	二二一〇二五
	雜口荷主貸	一口	一、一七〇〇〇
預金	定期預金	二、六二一、四八〇	七、六一七四四
	特別當座	三、七七一、三六〇	六、一〇九七一
現金	手許有高		七九七七九
假拂金		一口	四五〇〇〇
保證金	本社保證金	一、二〇〇圓ノ内	一、六五六六〇
振戻金		五口	三二、五〇〇〇〇
株主勘定			
未拂込資本金	一株額面五拾圓 一千株	未拂込額三三、五〇〇	七五、二二一五一
合計			

損益計算書

收入之部

一金七萬四千九拾五圓五拾四錢
 發送收入
 到着收入
 請負作業收入
 倉庫收入
 雜收收入
 計金拾壹萬九千參百七拾七圓拾五錢

支出之部

一金壹萬貳千參百貳拾貳圓六拾四錢
 發送掛費
 到着掛費
 作業掛費
 給業與費
 營業費
 一金壹萬貳百五拾六圓參拾錢

一金貳千貳百參拾七圓六拾五錢
 一金參百九拾貳圓貳拾九錢
 一金四萬九千八百七拾九圓參拾五錢
 計金拾壹萬四千七百九拾七圓四拾貳錢

差引

金四千五百七拾九圓七拾參錢

內

金貳千拾四圓參錢

再差引

金貳千五百六拾五圓七拾錢

金壹千百拾七圓參拾四錢

合計金參千六百八拾參圓四錢

諸 稅 金
 諸 損 費
 鐵 遣 納 金

固定資產償却

當 期 純 益 金
 前 期 繰 越 金

利益金處分

金參百圓也

法 定 積 立 金

金七百圓也

別 途 積 立 金

金壹千四百圓也

配 當 金 (年八分ノ割)

金壹千貳百八拾參圓四錢

後 期 繰 越 金

右之通りに御座候也

昭和十六年四月二十二日

株式會社上盛岡通運

取締役社長

大 矢 權 二 郎

常務取締役

鎌 田 六 郎

取 締 役

大 矢 貞 治

右監査候處相違之無候也

監 査 役

鎌 田 逸 郎